

国語科学習指導案

1 単元名

情報を編集する ～私たちのネットニュースを作ろう～

2 単元の目標

- (1) 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。〔知識及び技能〕(3)エ
- (2) 目的に応じて情報を整理しながら適切な情報を得ることができる。〔思考力, 判断力, 表現力等〕C(1)イ
- (3) 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考力, 判断力, 表現力等〕C(1)オ
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、情報を読み、思いや考えを伝えようとしている。「学びに向かう力, 人間性等」

3 本単元における言語活動

新聞から集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする活動。

4 単元設定の理由

(1) 本単元で扱う言語活動と教材

本単元では、ネットニュースを作るという疑似体験を通して、複数の新聞から得た情報を選択し、情報を整理するという言語活動を行う。これは、平成26年度全日本中学校国語研究協議会千葉大会「読むこと2「説明的文章」での研究授業「スクラップ新聞を作ろう」を発展させたものである。本単元も新聞の情報をもとに

編集を行うが、この活動を通して、一次情報と二次情報の関連性に気付かせたいと考える。『広辞苑 第六版』(岩波書店, 2008年)によると、一次情報とは、「実態調査・アンケート調査・実験などにより直接集めた情報。」であり、二次情報とは、「一次情報を検索や流通に便利のように要約・整理・加工・再編成した情報。」である。学習者は一次情報である新聞を学習材として、興味関心のある記事を選択し、グループで選択した記事の説明を行う。その後、グループで二次情報としてのネットニュースを作ることを目的として記事を精査し、見出しや掲載の順番等を決めていく。対話を通して、自分と他者との考え方の相違を知り、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。これは第66回読売教育賞を受賞した陸奥賢氏が発案した「まわし読み新聞」から着想を得たものである。

総務省の令和3年度情報通信白書によると「いち早く世の中のできごとや動きを知る」ために最も利用するメディアとして、全年代で「インターネット」が最も高く、「世の中のできごとや動きについて信頼できる情報を得る」ために最も利用するメディアとしては、20代では、「インターネット」が「テレビ」を上回っているという結果が出ている。つまり、インターネットで情報を収集するということが現代では主流となっている。現在の生徒たちはデジタルネイティブ世代と呼ばれ、よりこの数値が上がっていくことが考えられる。

インターネットのニュースサイトには、新聞社やテレビ局などが自社のウェブサイトを開設している情報の発信元となるものと、情報の発信元の記事やニュースを二次的に掲載しているネットニュースがある。後者は、読み手の興味関心を引くような情報を取捨選択し、より多く

の人に読ませるため、さらに関連する記事を掲載したり、1つの記事に複数の見出しを付け掲載したりしている。

つまり、読み手は発信者の意図によって取舍選択され、編集されている情報を読んでいるのである。さらに、インターネットでは、情報の閲覧状況によって、個人の行動履歴に基づいて最適化された情報が提供される。生徒だけではなく、社会人でさえ、これらのことを意識せず情報を受動的に読み、鵜呑みにしていることが多いのではないだろうか。この学習を通して、普段読んでいるニュースが情報の発信者の意図により編集されたものであることに気付くことで、情報を主体的に読み、正しい判断をする力、自分の意見や考えを発信する力を身に付けることにもつながるのではないかと考える。

目的や意図に応じて情報を収集したり、内容を検討したりする力は自分の思いや考えをより正確に伝える上で重要である。自分の思いや考えを伝えるためには、その根拠として取り上げる情報が自分の意図や目的に対して適切であるかどうかを考えることが必要である。また、そのような情報を選び取る際に、比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について正しく理解し、使っていくことで正確に伝える力につながると考える。

今回使用する学習材は、紙媒体の新聞を活用する。新聞は一般的に記録性・客観性・解説性・詳報性・一覧性・可搬性に優れている。特に解説性については、出来事に対しての基本的な報道だけではなく、背景について分析されていたり、新聞社によって解説のスタンスや取り上げ方が異なっていたりする。つまり、ある一つの出来事に対して様々な視点から記事が書かれ、情報の深さに差のある記事を手にすることができるといった特徴がある。気になった記事を何度でも繰り返し読んで理解を深めたり、記事同士を比較して新たな視点や考えを手にしたることができるという特徴もある。以上のことから、一次情報として活用するのにふさわしい学

習材だといえる。

(2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元は、ネットニュースを作るという疑似体験を通して、中学校学習指導要領 国語（平成29年度告示、以下「学習指導要領」）第2学年「C読むこと」のイ「目的に応じて情報を整理しながら適切な情報を得ること。」と、オ「文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。」を目指すものである。複数の新聞から情報を選択し、ネットニュースを作るといった疑似体験の学習活動を通して、自ら興味関心をもつ情報を探し、その情報を活用する姿勢を身に付けさせたい。また、記事を説明する学習活動や複数の記事を比較する学習活動、記事を取捨選択したり他との関連を意識しながらまとめたりする学習活動を通して、自分の考えを広げたり深めたりする力を身に付けさせたいと考える。

まず、各自で複数の新聞を読む活動には、自らの興味関心に基づいて、新聞記事を取捨選択し、グループにその記事を選んだ理由を説明するという目的がある。また、グループの話合いの際には、個々の選択した記事を、ネットニュースに編集するという目的のために、自分たちにとって必要な記事を読むことになる。記事を読む目的を明確にすることで適切な情報を得ようとする姿勢を養うことにつながると考える。

そして、学習指導要領によれば、「自分の考えを広げたり深めたりする」こととは、「読み手をもつ知識や経験は一人一人異なることから、どのような知識や経験と結び付けるかによって、同じ文章を読んでも考えは多様なものとなることが考えられる。その上で、他者の考えやその根拠、考えの道筋などを知り、共感したり疑問をもったり自分の考えと対比したりすることが、物事に対する新たな視点をもつことにつながる」とある。グループでの対話を通して、情報の選択や選択理由は人それぞれであることに気付かせたい。

また、学習指導要領でも、急速に情報化が進展する社会において、様々な媒体の中から必要な情報を取り出したり、発信したい情報を様々な手段で表現できたりする力を生徒に身に付けさせることが求められている。

今後の社会生活の中で、多種多様な媒体から発信される情報の波にのまれることなく、発信者の意図に惑わされることなく、情報の真偽や書き手の意図を見極めながら情報を正確に読み取る力、目的に合わせて情報を選択できる力を身に付けさせたい。そして、一連の学習を通して、世の中の出来事を語りながら自分を語り、他者を知り、学習者同士で学ぶ楽しさも感じさせたい。

(3) 社会生活とのつながり

世の中は多種多様な情報であふれている。その情報は、さまざまな媒体を通して、私たちに伝わる。また、誰もが発信者になれる時代である。ツイッターなどで発信された情報が話題になり、マスコミュニケーションが取材をするというパターンも見受けられる。世の中で起きる出来事はマスメディアでは、手の届かないようなところで起こっているのである。ケビンケリー著・服部桂訳『〈インターネット〉の次に来るもの 未来を決める12の法則』(NHK出版、2016)によると「世界中の若者たちがスマートフォンで毎日5億ものちょっとした書き込みをしている」「過去20年間アメリカの識字率に変

化はないが、読み書きの量は増えている」という記述もある。つまり誰もが情報を編集して発信できるのである。

そのような中、社会生活へと活動を広げている中学生は、人と人(文章、情報)との関わり合いの中で、相手の考えを受け止めながらも、根拠をもとにして自らの考えを構築し、その考えを伝えていく力が求められている。より良い活動や社会の構築のためには、課題を把握し、情報を集め、整理・分析し、方向性を示すことが必要である。それぞれが受け取った情報の解釈の仕方によって、その後の行動が変わっていくと考えられる。情報を一面的に受け取ると情報の発信者の意図に飲み込まれてしまう可能性がある。刻一刻と情報が変化していく世の中で、その情報を批判的に読み解き、主体的に受け取る姿勢が必要になってくる。そうすることで、複雑で多様化する社会の中でそれぞれが情報と主体的に向き合うことができるだろう。生徒たちには、今回の授業で身に付けた力を活用して、目的や意図に応じて情報を収集し、自分の思いや考えを伝えるために、その根拠として取り上げる情報が自分の意図や目的にふさわしいか比較したり、吟味したりして、自分の思いを言葉で伝えられるようになってほしい。

そして、より良い社会と幸福な人生の創り手となり、幸せな生活が送れるようになる姿を期待したい。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ	「読むこと」において、目的に応じて情報を整理しながら適切な情報を得ている。(1)イ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)オ	言葉がもつ価値を認識するとともに読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、情報を読み思いや考えを伝えようとしている。「学びに向かう力、人間性等」

6 指導と評価の計画(5時間)

時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○本単元における新聞読書の方法について学ぶ。	[主体的に学習に取り	ワークシート

		組む態度] ①	
	○朝読書の時間を活用し、同じ日付の新聞5紙を読む。 ○各新聞から選んだ自分の興味関心をもった新聞記事を切り取り、保存する。		
2	○新聞5紙から選んだ、より伝えたい2つの記事をワークシートの観点に沿って整理して読む。 ○自分が選んだ記事の出典を明確にして、グループのメンバーに記事の内容や気づいたこと、選んだ理由や考えたことを説明する。(1グループは5人)	[知識・技能] ① [思考・判断・表現] ① [思考・判断・表現] ② [思考・判断・表現] ③	新聞記事 ワークシート ワークシート ワークシート
3	○記事選択説明の交流活動を踏まえ、ニュースサイトの編集者となり、中高生を読み手としてネットニュースに取り上げる記事をグループで3つ選ぶ。 ○グループで選んだ新聞記事を読み直し、読み手が中高生という視点で記事の順番を決める。 ○選んだ記事に読み手が中高生である視点で、見出しを考える。	[主体的に学習に取り組む態度] ① [思考・判断・表現] ①	観察 ワークシート
4	○グループのネットニュースとして Google ドキュメントにまとめる。 ○他のグループのネットニュースを読む。なぜ、その記事を読んだのか読み手の視点で理由を書く。	[思考・判断・表現]	ワークシート
5	○学習を振り返る。	[主体的に学習に取り組む態度]	フォーム

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○学習のねらいや進め方をつかみ、学習の見通しをもつ ○自分の情報収集の方法について振り返る。 ○ネットニュースの作られ方について NHK for School の動画を視聴する。 ○本單元における新聞読書の方法について学ぶ。	・情報を編集してネットニュースを作ることを伝える。 ・ネットニュースがどのように作られているかを学び、作成するときの視点を参考にさせる。 ・ジャンルにこだわらずまんべんなく新聞記事を読むように指導する。	[主体的な学習に取り組む態度] ① ワークシート ・ここでは、自らの情報収集の方法について振り返り、学習に対する関心意欲を高めるとともに見通しをもっているかを確認する。
帯学習	○朝読書の時間を活用して、同じ日付の新聞5紙を読み、おもしろいと感じた記事や気になった記事、興味・関心をもった記事、疑問に思った記事など各新聞から1つ選び、名前を書いた付箋を貼る。 ○選んだ新聞記事を切り取り、ファ	・見出しで興味関心を抱いたものなどは記事の内容も読むように指導する。	[思考・判断・表現] ① (新聞記事) ・ここでは、新聞記事に線を引く活動から目的に沿って、知識や経験と結びついた記事を選択しているかを確認する。

<p>イルに保存する。</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>○選んだ新聞記事のヒットワード、ヒットセンテンスに線を引く。</p> <p>○新聞5紙から選んだ、より伝えたいと考える2つの記事を選択し、ワークシートに観点に沿って整理して読む。</p> <p>○自分が選んだ記事の出典を明確にして、グループのメンバーに記事の内容や気づいたこと、選んだ理由や考えたことを説明する。</p> <p>○他の生徒は説明を聞いて自分なりの考えや感想を述べ合う。</p> <p>○記事選択説明の交流活動を踏まえ、ニュースサイトの編集者となり、中高生を読み手としてネットニュースに取り上げる記事をグループで3つ選ぶ。</p> <p>○グループで選んだ新聞記事を読み直し、読み手が中高生という視点で記事の順番を決める。</p> <p>○順番決定の意図を個人で記入する。</p> <p>○中高生に読んでもらうための見出しを15文字以内で考える。</p> <p>○見出しを決定する。</p>	<p>・選んだ記事から自らの知識や経験と関連した語句や文に引かせる。</p> <p>・記事は「中高生に知らせたい」「みんなに知らせたい」「社会問題として捉えたい」などの視点で2つ選択させる。</p> <p>・出典を明確にさせ、なぜ共有したか自分の体験と照らし合わせながら説明するよう指導する。</p> <p>・記事の内容について、質問をしたり答えたりしながら自由に語り合うよう指導する。</p> <p>・ネットニュースのモデルを示す。</p> <p>・「中高生に知らせたい」「みんなに知らせたい」「社会問題として捉えたい」などの視点で選ぶように指導する。</p> <p>・安易に多数決で決めず、読み手を意識し、みんなの意見を十分擦り合わせ選ぶよう指導する。</p> <p>・話し合いが滞っているグループには選んだ理由について話すように促す。</p> <p>・対話的な活動になるように、どのようなことを知りたいか、考えたいかなど意見を出させる。</p> <p>・グループでの記事選択で気づいたことや考えたこと、この順番で伝えたいことを書かせる。</p> <p>・15文字は実際のネットニュースの見出しの文字制限であることを伝える。</p> <p>・見出しを考える際には新聞記事を読み直すように指導する。</p> <p>・必要があれば記事の順番や見出し</p>	<p>[知識・技能] ① (ワークシート)</p> <p>・ここでは、新聞記事から、記事に関連する内容でさらに調べたいことなどが記入できているかを確認する。</p> <p>[思考・判断・表現] ② (ワークシート)</p> <p>・ここでは、目的をもって記事を選択し、情報を観点に沿って整理し、知識や経験と結びつけて説明できているかを確認する。</p> <p>[思考・判断・表現] ③ (ワークシート)</p> <p>・ここでは、説明する活動から、級友の説明から気づいたこと、考えたことをメモし、自分の考えを広げたり深めたりしているかを確認する。</p> <p>[主体的な学習に取り組む態度] ① 観察</p> <p>・ここでは、ネットニュースの制作において、それぞれの意見を参考にして、読み手を意識し、協力して記事を選んでいるかを確認する。</p> <p>[思考・判断・表現] ① ワークシート</p> <p>・ここでは、読み手を意識しながら、効果的な順番を考えその意図やねらいを説明する文章を書いているかを確認する。</p>
--------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>○記事を分担して、写真を撮り、Google ドキュメントに1人1記事貼り付ける。</p> <p>○分担して作成した Google ドキュメントの URL をグループ用の Google ドキュメントに貼り付け、ネットニュースのように仕上げ、Google スライドに貼り付ける。</p> <p>○他のグループのネットニュースを読む。なぜ、その記事を読んだのか読み手の視点で理由を書く。</p>	<p>を変えてもよいことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業が滞っているグループについては、支援を行う。 ・ネットニュースを読ませるときには、一番興味関心を引いた見出しから読むように指導する。 ・読んだ記事をメモさせ、読み手の視点で理由を書かせる。 	
5	<p>○Google Forms に読んだ個別の記事を投票する。</p> <p>○投票された記事の見出しや内容について全体で確認する。</p> <p>○学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動を振り返って、ネットニュースを作成したことで考えたことや気づいたこと、単元を通して自分が身につけた力を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Forms の投票結果を全体で確認し、多く読まれた記事の理由を考えさせる。 ・ ネットニュースを読み比べて気づいたことを書かせる。 ・ 編集者の目的と意図によって、選択される情報が異なることに気づかせる。 － 本単元で身に付いた力やできるようになったこと。 － 本単元で意識したこと。 － 今後の学習や生活の中で生かせそうなこと。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[主体的な学習に取り組む態度] (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、お互いのネットニュースを読み、その記事が選ばれた理由をこれまでの学習を生かして説明しようとしているかを確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[主体的な学習に取り組む態度] ① (Google Forms)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、本単元で学習したことを今後の具体的な実生活で生かそうとしているかを確認する。 </div>

【参考文献】

- ・陸奥賢 (2018 年). 『まわし読み新聞をつくろう!』. 創元社
- ・中学校学習指導要領 (平成 29 年度告示) 解説 国語編. 文部科学省
- ・第 43 回全日本中学校国語研究協議会 千葉大会 (平成 26 年 10 月 31 日)
- ・総務省 (2021 年) 「情報通信白書」
- ・<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/pdf/index.html> (参照 2022—07—29)
- ・ケビィンケリー著・服部桂訳 (2016 年). 『〈インターネット〉の次に来るもの』. NHK 出版
- ・田村学 (2021 年). 『学習評価』. 東洋館出版
- ・『広辞苑 第六版』. 岩波書店 (2008 年)